

先物取引に係る雑所得等の金額の計算明細書

この明細書は、先物取引に係る事業所得や雑所得について確定申告する場合に使用します。なお、いずれの所得もあるときは、所得の区分ごとにこの明細書を作成します。詳しくは、「先物取引に係る雑所得等の説明書」を参照してください。

(記載例については、裏面を参照してください。)

いずれか当てはまるものを○で囲んでください。 → 事業所得用 / 雑所得用

(平成 年分)

氏名

Table with columns for transaction type, date, quantity, method, and amounts (A, B, C, Total). Rows include '取引の内数', '総収入金額', '必要経費', and '所得金額'.

申告書第三表(分離課税用)は「収入金額」欄の⑦(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの④(収入金額)に転記してください。

黒字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の⑥(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの⑥)にそのまま転記し、赤字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の⑥(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの⑥)に「0」と書いてください。

※ ①、③及び⑩欄は金額が赤字(損失)のときは、赤書き(△印)してください。
◎ ④から⑥の各欄は、差金等決済ごとに記載してください。
⑦本年の⑩欄の合計額が赤字のときにその赤字を翌年以後に繰り越す場合や、④本年の⑩欄の合計額が黒字のときに前年から繰り越された赤字を本年の黒字から差し引くときには、「平成 年分の所得税の 申告書付表(先物取引に係る繰越損失用)」も併せて作成してください。

この明細書は、申告書と一緒に提出してください。

先物取引に係る雑所得等の金額の計算明細書

この明細書は、先物取引に係る事業所得や雑所得について確定申告する場合に使用します。なお、いずれの所得もあるときは、所得の区分ごとにこの明細書を作成します。詳しくは、「先物取引に係る雑所得等の説明書」を参照してください。

(記載例については、裏面を参照してください。)

いずれか当てはまるものを○で囲んでください。 → 事業所得用 / 雑所得用

(平成 年分)

氏名

Table with columns for transaction type, date, quantity, method, and amounts (A, B, C, Total). Rows include '取引の内数', '総収入金額', '必要経費', and '所得金額'.

申告書第三表(分離課税用)は「収入金額」欄の⑦(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの④(収入金額)に転記してください。

黒字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の⑥(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの⑥)にそのまま転記し、赤字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の⑥(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの⑥)に「0」と書いてください。

※ ①、③及び⑩欄は金額が赤字(損失)のときは、赤書き(△印)してください。
◎ ④から⑥の各欄は、差金等決済ごとに記載してください。
⑦本年の⑩欄の合計額が赤字のときにその赤字を翌年以後に繰り越す場合や、④本年の⑩欄の合計額が黒字のときに前年から繰り越された赤字を本年の黒字から差し引くときには、「平成 年分の所得税の 申告書付表(先物取引に係る繰越損失用)」も併せて作成してください。

この明細書は、申告書と一緒に提出してください。